

テーマ「児童・生徒が主人公になる図工・美術」

～社会、世界と深くかかわり感性を育む造形活動～

新潟県三条市・・・小学校 中学年

○ 題材名 「ふわふわ舞踏会へようこそ」 ～宙に舞う生き物の島～

○ ねらい

対象を風の力で空中に浮かせる活動を楽しみながら、ビニル素材のものと、その他の材料から生まれる対象の特徴を生かしてイメージ広げ、表したいものを表す。

○ 準備

ビニル袋、PP紐、毛糸、紙テープ、折り紙、カラーセロファン、カラーペン、創作話

○ 題材の内容

ビニル袋を主材料とし、風の力で浮かばせることにより、ビニルを美しく舞わせるためにどうしたらよいか考え、つくりこませていく活動である。大型扇風機の風で様々なビニルを空中に浮かせる活動に浸らせ、ビニル素材の違いにより、動きに違いがあることに気付かせたり、ビニルが動く様子から子どもが知っているものに見立てさせたりしていく。その際、風を受けて変化していく対象の動きの面白さに着目させていくために、表していくものを生き物に絞り込んでいく創作話を提示する。子どもは、風を受けて動く生き物の動きの面白さを生かすためには、ビニル袋に紐状の材料等を付ければ、表したいものを表すことができるという考えをもち、創作活動を行っていく。さらに子どもの視点を広げさせるために、その生き物を「ふわふわ舞踏会」へ連れて行くという創作話を提示する。この働き掛けにより、子どもは、風による動きの面白さだけでなく、天井からの光を生かした色や模様的美しさを表したいという思いをもつ。

このように、ビニルが風を受けたとき空中に浮く様子や、形を変えて動く様子、透過性があること、物を包むことができることなどの特徴を生かして、子どもはイメージを広げて舞踏会で華麗に舞う生き物をつくっていく。

○ この題材を通して培われる力（3観点から）

1. 個別の知識や技能

風や光を受けて変化するビニルの特徴を生かして表し方を工夫する。

2. 思考力・判断力・表現力等

創作話や主材料であるビニルの特徴から、表したい生き物を考えていく。

3. 学びに向かう力・人間性など（情意、態度等に関わるもの）

風や光を受ける試しの活動を通し、ビニルの特徴を生かし、自分の生み出した生き物とともに創作話の世界に浸り、楽しみながらつくりこんでいく。

